香美市文芸 風の流れ

広報委員会　選

◆一般投稿作品◆

雪布団ふんわりかかり福寿草　山﨑　寿美
鍬かつぎ辿る家路や春の月　山﨑　貴子
哀しみは極限にあり百千鳥　森本　幸美
悔もなく愚直に生きて梅二月　森本　純喜
雪山と空の青さを称へをり　森岡　秀野
じっと耐え雪割桜つぼみけり　三谷　誠郎
弥生なる青空晴れて春霞　岡村　和躬
捨て鍋の傾くままの薄氷　上池　児未
梅一輪二輪と咲きて春時雨　楮佐古きよ
立春や楕円ゆらりと瓶沈む　福留とものり
汁の実に入れよと蕗の薹三つ　竹村　咲子
如月や律儀に生きし人葬る　岡田美代子
菜の花にそっと寄りそう仏座　都築　忠義
初日の出仰ぎて拝み卒寿かな　有澤　春江
遠のきて又近づきて浅き春　相澤　睦子
北風に遣り切れず掃く吹き溜り　高野　和一
ねんねこを親子が着いて寒にまけず　三木　牧子
ひなまつり初ひ孫抱きおめでとう　坂本美智子
雪とけてかれ木がいきるじきになる　公文　円香

◆美良布俳句会◆

まっすぐに伸びたる畝の春の霜　岡本かほる
小庇をはしり雨音春の雪　明石ゆきゑ
うたた寝の姿の舟漕ぐ春炬燵　北村　幸子
三椏の咲き夫の忌の孫ら待つ　北村　里子

節分や福食ぶ笑い恵方巻　小野川順子
野菜棚土筆も並び道の駅　前田　芳子
春時雨肩をすぼめてバスを降り　中内ゆかり
小鳥翔ち古祠祓ふかに野梅散る　竹内　ろ草

◆かがみ野俳句会◆

水の色ちりばめ湖畔のいぬふぐり　佐竹　洋子
堪えし過去今幸せや春立ちぬ　利根　弘子
友作る沢庵の味母の味　森本　倢代
漸くに婚整ひぬ梅真白　古川　信子
霜焼けのいとしき小指くすり指　小松　愛子
早春の山彦軽く戻りけり　山﨑　鈴子
早梅や海のにほひの何んでも屋　中澤　美晴

◆かほく俳句会◆

春一番研がれて星の荒荒し　乾　真紀子
亡夫よりも永らへ春立つ星仰ぐ　奥宮さとみ
冬籠命惜しめと師の言葉　久保内鏡子
地下足袋の紺かぐはしく春立ちぬ　黒岩千英子
休み無き老老介護去年今年　小松　昇
残り火のちろちろ燃えて春を待つ　小松　隆之
教へ子の母となりたる賀状かな　杉山　春萌
涅槃会の若き僧侶の頭陀袋　野村　里史
寒風にさらされ烏賊の一夜干　前田　智
荒星や狸二匹が庭に来ぬ　間崎　和代
みづうみの底如月の雲沈め　宗石　愛喜
春来る筧の水音勢にも　森本　之子
春暁の村の灯無きも佳かりけり　山崎かずみ
下萌や上りたくない瓦屋根　山中　瑞輝
弾初の孫のギターの上達す　山中　明石
永らえへて八十年の春炬燵　山中　晶子
ファスナーの機嫌悪しき日戻り寒　前田　欣一

◆土佐山田町俳句会◆

「あいやい」は「はいはい」婆の社日さま　明石　韮生
門出でて春の動くを身辺に　大石　邦男
探梅の一輪に声とびつきぬ　橋本　昭和
傷ついた俎捨てる春立つ日　安丸　槇子
雑巾を縫わなぬわなと梅の春　前田美智子
すいすいとスマホ操る雪坊主　森田　菊恵
秦山忌我が墓所隣る梅二月　前田　小夜
水仙や枯れ草の中馥郁と　森田　貞男
サイレンが放流知らせ春一番　笹岡　英世
猫の恋男子冥加や一本道　川谷　泰山
訃報あり春愁つのり来たるかな　田村　一翠

今月のキラリ✧

捨て鍋の傾くままの薄氷

よく視点の効いた句である。捨て鍋の傾きと薄氷の水平、この取り合わせが妙。まだ寒さの残る早春の庭先の情景である。

俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。住所、氏名、電話番号を明記してください。
▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

【投稿先】総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782－8501（住所記載不要）FAX 53・5958

第12回吉井勇顕彰短歌大会

漂泊の歌人吉井勇の功績を顕彰するための短歌大会が開催され、全国各地から、一般38名・76首、学生621名・621首の投稿がありました。表彰式と記念講演会は3月7日(土)、香北町の猪野々集会所で行われました。

【受賞作品　一般の部】

吉井勇大賞
母の歩に合わせて母の老いを知る残波岬の余光美し　福岡県福岡市　六月朔日光

吉井勇賞
松の木に掛けし木槽に頭入れ水呑む馬の腹の波うつ　千葉県市川市　大河内卓之

玉井清弘賞
しぐれ避け寄る奥土佐のよろづ屋は軒に古りたる酒林を吊る　高知県須崎市　徳永逸夫

井上佳香賞
フライパン握るも今日が最後なりブランデーの炎わっと立てたり　高知県高知市　奥宮武男

佳作
わが採りし柚子幾百に照らされて施設の湯ぶねに母浸るころ　大阪府茨木市　吉田美子
鴨の声岸べにひびきまたひびき今日よりにぎはふ冬のふるさと　高知県高知市　森田睦子
原発の再開決定庭すみの三年すぎた汚染土に雪　茨城県鹿嶋市　栗崎耕三

【受賞作品　中高生の部】

吉井勇大賞
夕暮れに一人で歩く帰り道いつもと違う自分に会える　香北中学校1年　吉川玲唯

吉井勇賞
農業は野菜育てるだけじゃない土にまみれて人も育てる　香川県立石田高校2年　石川雷蔵

玉井清弘賞
オレの着る実習服の甘き香よ豚のにおいはオレの誇りだ　香川県立石田高校3年　宮竹真琴

井上佳香賞
太陽に燃える道路と焦げる肌跨ぐ陽炎測量実習　香川県立石田高校3年　明野拓志

佳作
少年を捨てにゆこうと高尾山登れば青き空に近づく　千葉県柏日体高校2年　成沢自由
真っ白な紙の表を向ける君「好き」の言葉に偽りはない　東京都実践女子学園高校2年　藤原麻衣
朝練は今日が最後ねと言う祖母に心の中でありがとう言う　鏡野中学校3年　浜田尚実

【受賞作品　小学生の部】

吉井勇大賞
帰り道ふとかげ見ればいつもより大きく見えるぼくの身長　山田小学校6年　高橋樹生

吉井勇賞
ふみきりがカンカンとなる帰り道ここで止まると思いでがある　山田小学校6年　小笠原裕大

玉井清弘賞
雪景色まっすぐ積もり光る雪雪反射して静かな一日　愛知県常盤東小学校6年　青山竜大

井上佳香賞
もち拾い子どもに負けず親たちも大人をけしてひっしにひろう　片地小学校6年　藤本佳久

佳作
見上げるときれいな夕日とうろこ雲まぶしすぎて見えないくらい　ワシントン日本語学校6年　白尾羽麗
夏が来る匂いがしたら君の顔浮かんで消えた星のない夜　山田小学校5年　井戸杏々歩
冬の空流星群を見に外へさっと横ぎる光の弓矢　香長小学校4年　乾力斗